

都市再生整備計画に基づくまちづくりの取組みについて

行田市では、「行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画」に基づき、城下町、足袋蔵のまちならではの歴史が感じられる景観まちづくりに取り組んでいます。この取組みの一環として、平成26年度に都市再生整備計画を策定し、平成27年度から令和元年度の5年間で、国土交通省の交付金を活用しながら、「行田らしさを活かした街なみ景観と賑わい創出による中心市街地の活力増進」を目標に、まちづくりを進めてきました。

1 計画期間

平成27年度～令和元年度（5年間）

2 総事業費

約3億2千万円（うち社会資本整備総合交付金 約1億2千万円）

3 計画区域

秩父鉄道行田市駅周辺地区（約110ha）



4 主な実施事業

歴史的街路整備事業（H27～R1）

市道第5.3-298号線外9路線 延長 約1,000m
 事業費 約1億9,600万円（うち国費7,320万円）
 平板ブロック舗装、型押しカラー舗装、
 半たわみ性舗装（化粧目地入り）など舗装の美装化工事



文化ゾーン修景整備事業（H28～H30）

都市計画道路常盤通佐間線沿道（浮き城の径～バスターミナル）
 延長 215m（せせらぎ+歩行空間整備）
 事業費 約6,100万円（うち国費2,250万円）
 プレキャストU字側溝+溶岩パネル（W1.0×H0.5）など

5 成果指標（抜粋）

指標	定義	従前値	目標値
街なみ満足度	歴史と文化との調和を感じる市民の割合	32.0%(H21)	45.0%(R2)
中心市街地の人口減少率	行田地区及び忍地区の人口減少率	-5.6%(H22)	-2.8%(R2)
地区内観光客入込数	地区内施設及びイベント入込数	35万人(H25)	45万人(R32)